指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　水産　　科

教科	水産　　科	科目	水産海洋基礎	単位数	2　　単位	年次	2　年次
使用教科書（出版社）	水産海洋基礎　（海洋堂）						
副教材等（出版社等）							

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は主に実習形式で行い，海洋における様々な基礎知識を身に付けます。実習内容は地域にある海洋センターを利用したマリンスポーツやタコツボ作り，ワカメの養殖，フグの養殖などがあります。また，実習だけでなくICT教材を利用したプリント学習や，自身で調べて学ぶ調べ学習なども取り入れ，それをレポートとして提出することもあります。

2．学習の到達目標

水産や海洋に関する基礎的な知識と技術を習得させるとともに，水産業や海洋関連産業が国民生活に果たしている役割を理解させる。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	海洋に関して様々なことに感心をもち，自ら授業を意欲的に学ぼうとする。また海洋だけでなく，海洋が与える海洋生物について影響も意識するなど，海洋全体を広い視野で見ることができる考え方を身につけている。	海洋に関する基礎知識を身に付ける。マリンスポーツでは自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。養殖などの実習では，いかに効率よく育てることができるかを自身で考えそれを実行できる。	海洋における様々な観察や実験などを行い，観察の仕方からレポートの学び方の基礎を修得する。そこから，観察や実験において的確に記録，整理し，海洋を科学的に探求する技能を身につけている。	海洋やそれに関する実習について，基本的な概念や原理・原則を理解し，知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	期末	海洋センターにおける海のプログラム	カヌー	○				a：知識の習得へ積極的に行動することができる。 b：危険を伴う実習等においてその危険性を認識し，行動することができたか。様々な活動においてグループで協力して行う。また，活動における問題点を考察し，導き出した考えを表現している。 c：実習内容について探求活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：実習での問題について理解し，改善できる。様々な実習内容を他の実習に応用して学ぶことができたか。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容
			いかだ	○					
			ビーチスポーツ	○					
			タコツボ作り		○	○			
			ロープワーク				○		
			海洋生物観察		○		○		
2学期	期末	海洋センターにおける海のプログラム	タコツボ漁	○				a：知識の習得へ積極的に行動することができる。 b：危険を伴う実習等においてその危険性を認識し，行動することができたか。様々な活動においてグループで協力して行う。また，活動における問題点を考察し，導き出した考えを表現している。 c：実習内容について探求活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：実習での問題について理解し，改善できる。様々な実習内容を他の実習に応用して学ぶことができたか。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容
			カヌー		○		○		
			釣り	○		○			
			ワカメ養殖		○		○		
			海洋生物観察			○	○		
3学期	学年末	海洋センターにおける海のプログラム	ワカメ養殖	○	○			a：知識の習得へ積極的に行動することができる。 b：様々な活動においてグループで協力して行う。また，活動における問題点を考察し，導き出した考えを表現している。 c：実習内容について探求活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：実習での問題について理解し，改善できる。様々な実習内容を他の実習に応用して学ぶことができたか。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容
			トラフグ養殖	○	○				
			調理実習			○	○		